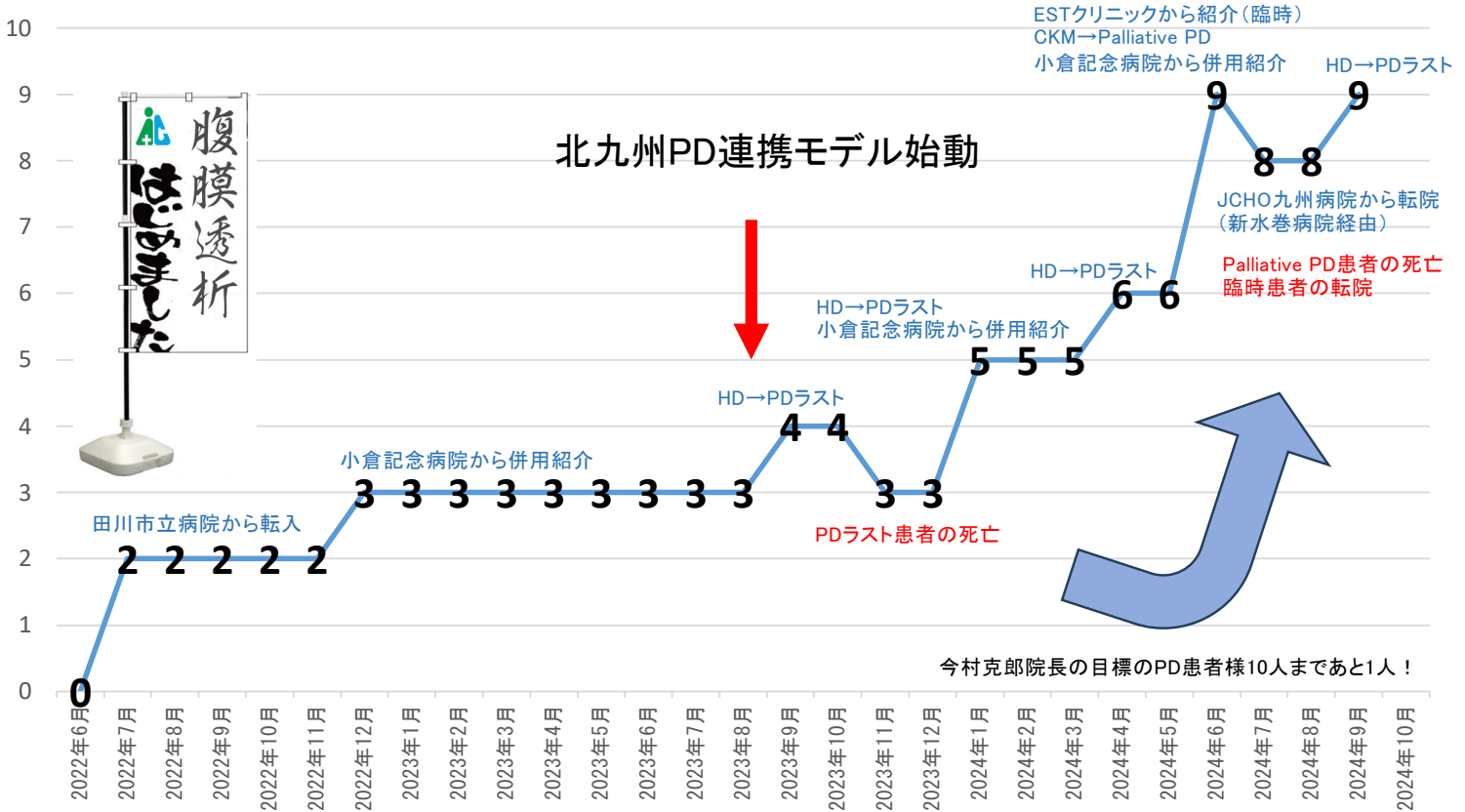


## 当医院の腹膜透析患者数の推移



## 北九州PD連携モデル再掲載 (楠本内科医院 楠本拓生 先生案)

無床透析クリニック  
かかりつけ医・往診医



- ①HD施行中で通院困難や透析困難症となった患者様。
- ②在宅訪問診療・往診を受けており、尿毒症が出てきた患者様。
- ③レスパイト・リハビリや入院治療が必要なPD患者様。



有床診療所とPD導入病院が協力して在宅医へのPDの橋渡しを!!

在宅医・訪問診療  
訪問看護



自宅や施設で看取りまでPDフォローを行う。

## 当医院の行なっているPD普及の取り組み

- ・PD導入医療機関との連携
- ・訪問看護ステーションとの連携
- ・在宅診療所との連携
- ・ケアマネージャーとの連携
- ・高齢者入所施設との連携
- ・HD患者再教育・療法再選択 → PDラストへ
- ・介護医療多職種連携会への参加
- ・PD認定指導看護師の取得
- ・PD認定臨床工学技士の取得
- ・PD勉強会の開催 (院内・訪問看護St・入所施設・在宅診療所など)

有床透析クリニック



入院し患者様の体調を整える。必要な方には、腎代替療法の再選択・最適化についての相談・指導を行う。

PD 導入病院



短期入院でPDカテーテル挿入 (※元々PD患者様の入院の場合はSKIP)

有床透析クリニック



体液管理や状態が安定するまで入院加療。PD手技指導・補助。在宅医療に向けて調整。